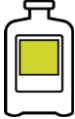
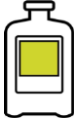


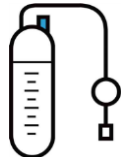


sLV5FU2 + BEV療法

～ 治療スケジュール ～

お薬の名前	1日目	2日目	3～14日目
●グラニセトロン ●デカドロン	 30分		お休み
ヘパシズマブ	 初回90分 2回目60分 3回目以降30分		お休み
レボホリナート	 120分		お休み
フルオロウラシル (急速静注)	 5分		お休み
フルオロウラシル (持続静注)	 46時間		お休み

治療中の注意点

点滴部位に強い痛みや腫れ、かゆみを感じた場合はお知らせ下さい。

気分が悪い、寒気、動悸、息切れ、顔や体がかゆいなどの症状が現れた場合はお知らせ下さい。

起こりやすい副作用

■白血球・好中球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があります。

治療開始後1～3週間頃に最も少なくなり、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を行い、白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

■貧血

副作用による貧血の場合、めまい、ふらつき、倦怠感、息切れ、動悸などの症状があらわれることがあります。場合によっては、薬で治療をしたり、輸血をすることもあります。

■血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などがおこりやすくなります。⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

■悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療薬や症状に合わせて吐き気止めを使います。食事や水分がとれない、または、1日4回以上吐いた場合は連絡してください。⇒食欲がなくても、脱水を防ぐため水分はしっかりとるようにして下さい。また、無理せず食べたいものを食べられる量だけ取るようにしましょう。

■下痢

1日4回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、病院への連絡が必要です。必要に応じて下痢止めが処方されることがあります。⇒下痢または軟便の時は脱水を防ぐために、消化に良い物を取り、水分もしっかりとりましょう。

■口内炎

治療開始2週間ほどで口の中が痛い、ひりひりする、赤くなるといった症状が出る場合があります。うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがありますが、痛みで食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保って下さい。

■倦怠感

治療開始2、4日後にだるい、体が重い、疲れやすいといった症状があらわれることがあります。⇒適度に休息を取ったり、無理せず安静にしましょう。

■タンパク尿

尿にタンパクが出る場合があります。そのため、定期的に尿を検査し、尿の中のタンパクの有無を調べます。

■高血圧

血圧が上がることがあります。血圧が高いと頭痛を伴うことがあり、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

■出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。

⇒10～16分たっても血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

■創傷治癒遅延（傷が治りにくい）

傷の治りが遅くなることがあります。

■その他

まれに、「激しい腹痛」（消化管穿孔）、「胸の痛み、息苦しさ、片方の足の急な痛みや腫れ」（血栓・塞栓症）が起こることがあります。

⇒これらの症状が現れたときはすぐに病院へ連絡してください。

！ 連絡をいただきたい症状！

- 38℃以上の発熱があるとき。
- 食事や水分をとれないほどの吐き気や嘔吐があるとき。
- 1日7回以上の下痢があるとき。
- 乾いた咳が続く、または息切れを感じる時。（間質性肺炎）